

第 43 回鋼構造基礎講座

「塗替塗装に関する基礎知識と  
課題への取り組み最前線」

令和 4 年 11 月 11 日

土木学会 鋼構造委員会

鋼構造継続教育推進小委員会

## まえがき

土木学会 鋼構造委員会 鋼構造継続教育推進小委員会では、若手など初級・中級技術者や上級技術者でも専門分野外の基礎技術を習得するための継続教育(CPD)を目的として、これまで鋼橋の設計、施工、維持管理などに関するさまざまなテーマで基礎講座を毎年2回程度実施してきました。

今回、第43回鋼構造基礎講座として「塗替塗装に関する基礎知識と課題への取り組み最前線」をテーマに企画しました。我が国ではインフラの老朽化の進行が問題となっており、例えば道路橋では建設後50年を超えるものの割合は令和5年には40%を占めるまでになると試算されています。鋼構造物の長寿命化のためには鋼材を腐食から守ることが重要であり、中でも一般的な防食方法である「塗装」に着目して、塗替塗装の要領と最適化について道路・鉄道事業者の立場からの取り組み事例や、素地調整・旧塗膜除去有害物調査と対応など、実践的な内容、最新の知見まで幅広く紹介します。

鋼構造の設計実務や管理をされる中で、「塗替塗装」についてこれから勉強したい方、理解を深めたい方、維持管理等実務に関する課題で悩まれている方々にとって、手助けとなる有意義な講習会になることを切望しております。

令和4年 11月

鋼構造継続教育推進小委員会

委員長 大垣 賀津雄

# 目次

1. 重度腐食した鋼構造物の素地調整の課題とブレイクスルー	1
貝沼 重信 (九州大学)	
2. 塗替塗装の要領と最適化への取組み	
2. 1 国土交通省の取組み	34
富山 禎仁 (土木研究所)	
2. 2 NEXCOの取組み	76
服部 雅史 ((株) 高速道路総合技術研究所)	
2. 3 首都高速道路の取組み	125
和田 新 (首都高速道路 (株))	
2. 4 鉄道橋の取組み	168
坂本 達朗 ((公財) 鉄道総合技術研究所)	
3. 橋梁等の鋼構造物における旧塗膜除去有害物質調査と対応	198
岩田 直樹 ((株) 島津テクノロジー)	